

2022年10月3日

東洋大学のシンポジウム

バイオミメティクスのものづくりと 研究者の文理横断の可能性に関する シンポジウムを開催

日時：10月8日（土） 13：00～16：05

場所：東洋大学 125記念ホール（文京区白山5-28-20）

※対面・オンラインのハイブリッド開催

東洋大学（東京都文京区／学長 矢口悦子）生体医工学研究センターは、2022年10月8日（土）に「Answer文理融合（理工学・経営学・教育心理学） 東洋大学の文系・理系研究者が「つながり」を考えてみた～バイオミメティクスの成果を例に～」をテーマにしたシンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは「東洋大学重点研究推進プログラム」（注1）の研究プロジェクトの1つである「バイオミメティクス活用による高機能かつ持続可能なものづくり」（研究代表者：合田達郎 理工学部生体医工学科教授）を軸に、文理による研究の発展性に迫ります。

「バイオミメティクス」とは、生物が進化の過程で獲得してきた機能から着想を得て、それらを科学、医学、産業などの分野に生かそうとする概念ですが、プロジェクトを経て総合大学として文系・理系学部の垣根を越えた本学研究者の人的つながりが構築されています。本シンポジウムではこうした文理融合研究のあり方を報告します。

取材をご希望の方は、メールフォームから10月7日（金）17：00までにお申込みいただけますようお願い申し上げます。オンラインをご希望の場合、URLを10月7日（金）19時頃にフォームに登録されたメールアドレス宛にお知らせします。

▶メールフォーム：<https://forms.office.com/r/E7q8abf1TG>

<記>

■日時：2022年10月8日（土） 13：00～16：05

■場所：東洋大学白山キャンパス 8号館7階125記念ホール
（文京区白山5-28-20）

※対面・オンラインのハイブリッド開催

■内容：

- ・バイオミメティクス×経営学【生物模倣が生み出す新たな価値】
- ・バイオミメティクス×教育心理学【バイオミメティクス研究会の取り組み】
- ・パネルディスカッション【文系・理系研究者が「つながり」を考える】

注1 東洋大学では、超スマート社会（Society5.0）の到来に向けて、地球レベルの課題解決に貢献するとともに、本学のブランドとなり得る独創的かつ先端的な研究プロジェクトを支援することを目的に「東洋大学重点研究推進プログラム」を創設し、現在7つの研究プロジェクトが研究に取り組んでいます。

【本件に関するお問い合わせ先】

東洋大学PR事務局（株式会社電通PRコンサルティング内） MAIL：toyo@group.dentsuprc.co.jp



東洋大学 重点研究推進プログラム
バイオミメティクス活用による高機能かつ持続可能なものづくり

Symposium 2022

Answer文理融合（理工学・経営学・教育心理学）

東洋大学の文系・理系研究者が「つながり」を考えてみた
～バイオミメティクスの成果を例に～

「バイオミメティクス」とは、生物が進化の過程で獲得してきた機能から着想を得て、それらを科学、医学、産業などの分野に生かそうとする概念です。本重点研究プロジェクトが始まり、1年と少しが過ぎました。この間、個々の研究以外に学部、キャンパスを超えた東洋大学の研究者の人的つながりが構築されました。その関係を踏まえて東洋大学における文理融合研究のあり方を楽しく考えていきたいと思えます。

13:00 – 13:10 開会挨拶

東洋大学 学長 矢口 悦子

13:10 – 14:30 経営学×バイオミメティクス
【生物模倣が生み出す新たな価値】

経営学部 経営学科 教授 山本 聡
理工学部 機械工学科 准教授 窪田 佳寛
美津濃株式会社 グローバルアパレルプロダクト本部 田中 啓之氏

14:30 – 14:40 休憩

14:40 – 15:20 教育心理学×バイオミメティクス
【バイオミメティクス研究会の取り組み】

文学部 教育学科 教授 谷口 明子
理工学部 建築学科 講師 高岩 裕也

15:20 – 16:00 パネルディスカッション
【文系・理系研究者が「つながり」を考える】

登壇者：矢口、合田、窪田、谷口、高岩、山本

16:00 – 16:05 閉会挨拶

理工学部 生体医工学科 教授 合田 達郎

主催 生体医工学研究センター

共催 工業技術研究所